



第159回定期演奏会

華麗なる異邦人的パッセージ

2018
1/26(金) 18:00開場
18:45開演
9/28発売

指揮/レオシュ・スワロフスキー(当団音楽監督)
コントラバス/アレクサンドル・シーロ

ベルリオーズ
序曲「ローマの謝肉祭」Op.9
クーセヴィツキー
コントラバス協奏曲嬰へ短調Op.3
ベートーヴェン
交響曲第2番ニ長調Op.36

第160回定期演奏会

知性的気高い抒情

2018
3/10(土) 13:45開場
14:30開演
11/22発売

指揮/大友直人
チェロ/佐藤晴真

エルガー
チェロ協奏曲ホ短調Op.85
ブラームス
交響曲第1番ハ短調Op.68



1月25日(木) 第159回定期演奏会プレイベント 入場無料
会場/名古屋文理大学文化フォーラム 先着200名

- 10:30~11:20「公開講座」中ホール
- 12:00~13:00「公開リハーサル」大ホール

公開講座…@FM「おはクラ・サタデー」でおなじみの山本雅士が定期演奏会で取り上げる楽曲や作曲者にまつわるエピソードを紹介します。
公開リハーサル…オーケストラが曲を作り上げていくリハーサルの一部を公開します。イヤホン付きFMラジオで館内FM放送によるリハーサル内容の
実況解説をお聴きいただけます。(解説をお聴きになりたい場合はイヤホン付きFMラジオをご持参下さい)
お問い合わせ/名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111 (稲沢市正明寺3丁目114)

3月8日(木) 第160回定期演奏会プレイベント 入場無料
会場/名古屋文理大学文化フォーラム 先着200名

- 10:30~11:20「公開講座」中ホール
- 12:00~13:00「公開リハーサル」大ホール

三井住友海上しらかわホール

☎052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15 (地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

入場料 A席4,300円 B席3,200円 C席2,200円 学生席1,000円他
※未就学児の入場不可 (座席指定の場合は各席半額)

プレイガイド

- 電子チケットぴあ ☎0570-02-9999
[1/26(Pコード321-773)] [3/10(Pコード321-778)]
- カワイ名古屋 ☎052-962-3939
- 愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
- しらかわホールチケットセンター ☎052-222-7117

お問い合わせ・チケット取扱い

セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851



セントラル愛知交響楽団定期演奏会2017-2018

第159回定期演奏会 ～華麗なる異邦人的パッセージ～



指揮 レオシュ・スワロフスキー(当団音楽監督)

Leoš Svárovský

チェコ生まれ。プラハ芸術アカデミーでノイマンに学び、プラハ国民歌劇場においてはコシュラーの下で副指揮者を務めた。その後、プラハ室内歌劇場、ヤナーチェク・フィル、ブルノ・フィル、プラハ国民劇場バレエ管などの首席指揮者を歴任。また、2003～2005年にはプラハ国立歌劇場芸術監督及び首席指揮者を務めた。これまでにシュターツカペレ・ドレスデン、ザルツブルク・モーツァルテウム管、リンツ・ブルックナー管、モスクワ放送チャイコフスキー響などに客演している。チェコ・フィルには定期的に客演している。また、スーク、オISTRAフ、リッチャレツリ、バターら名演奏家との共演を重ねている。プラハの春、プラハの秋、パイロイトなど著名音楽祭への参加も多い。現在スロヴァキア・フィル常任客演指揮者、ブルノ・フィルハーモニー協会名誉会員、プラハ芸術アカデミー准教授を務めている。スロヴァキア・フィル、ブルノ・フィル、プラハ国立歌劇場、ザルツブルク・モーツァルテウム管などの日本公演をいずれも成功に導く一方、国内オーケストラの客演の機会も多く、日本での評価を着実に高めている。中でも2010年7月の都響創立45周年記念特別公演「売られた花嫁」はサントリーホールを大喝采の渦に巻き込んだ。2014年4月、セントラル愛知響音楽監督に就任。2015年7月、スロヴァキア・フィルとの合同演奏によるマラー「巨人」の成功は記憶に新しい。また昨年9月の当団定期第150回記念公演ではスロヴァキア国立歌劇場のソリストたちを招きドヴォルザークの「スターバト・マーテル」を演奏。聴衆の熱烈な反応をよんだ。



コントラバス アレクサンドル・シーロ

Alexander Shilo

1955年ロシア共和国ベルゴロド生まれ。8歳よりチェロを学ぶ。1971年ユージン・レビンソン(現ジュリアード音楽院教授・元ニューヨーク・フィルハーモニー首席ソロ奏者)に師事し、コントラバスを始めた。1979年 Санктペテルブルク音楽院卒業。1975年より1979年まで、マールイ劇場オーケストラコントラバス奏者。1979年より1989年まで、 Санктペテルブルク・アカデミー・フィルハーモニーオーケストラコントラバス奏者。1989年より2011年まで、 Санктペテルブルクフィルハーモニー交響楽団首席コントラバス奏者。2013年よりロシアの名誉アーティストとしてマリンスキー劇場管弦楽団コントラバス奏者。1988年全ロシア・コントラバスコンクール1位。以来、世界各地でコンサートを行う。またソリストとしても世界各地オーケストラと共演。1995年 Санктペテルブルクフィルハーモニーコントラバスカルテットを主宰し、室内楽の分野でも世界各地で活躍する。現在、リムスキー・コルサコフ記念 Санктペテルブルク音楽院、 Санктペテルブルク大学教授。世界の楽壇で活躍している門下生を多数輩出している。その他、世界各地で行われた国際音楽フェスティバルに招聘され、リサイタル、マスタークラスを行う。(日本佐賀県、ポーランド、アメリカ、ブラジル、ドイツ、フランス、エストニア、マケドニア、トルコ)セルゲイ・クセヴィツキーアカデミー協会を設立し、マスタークラス、コンサート、セルゲイ・クセヴィツキー国際コントラバスコンクール、プラネタコントラバス国際音楽祭等を主催。2003年に、大統領の法令により、功労芸術家として栄誉称号を授与される。

第160回定期演奏会 ～知性的気高い抒情～



©T. Tairadate

指揮 大友直人

Naoto Otomo

桐朋学園大学を卒業。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘各氏に師事した。桐朋学園大学在学中からNHK交響楽団の指揮研究員となり、22歳で楽団推薦により同団を指揮してデビュー。現在、群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督。また、2004年から8年間にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務めた。在京オーケストラの定期演奏会にとどまらず、2012年3月にはハワイ交響楽団のオープニングコンサートを指揮、以降定期的に客演し、同年6月にはロレーヌ国立管弦楽団の定期公演に客演、絶賛された。2013年にはエネスク国際音楽祭に招かれ「弦楽八重奏op.7」を演奏。“繰り返し演奏されているが、今回の演奏は最高の演奏”日本のオーケストラ演奏が西洋音楽への新しい希望を見出した”と評され、欧米での活躍にも大きな期待が寄せられている。第8回渡邊暁雄音楽基金音楽賞(2000年)、第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2008年)を受賞。

チェロ 佐藤晴真

Haruma Sato

1998年名古屋市生まれ。NHK名古屋青少年交響楽団で5年間活動、高校在学中に小澤征爾音楽塾オーケストラに参加。その後NHK名古屋青少年交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、Innovative Classic Orchestra等と共演。ベルリン、東京、名古屋でソロ、室内楽の演奏を重ねる。第67回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部第1位、第83回日本音楽コンクールチェロ部門第1位及び徳永賞・黒柳賞、第1回アリオン桐朋音楽賞、平成25年度東京都北区民文化奨励賞等を受賞。ヤマハ音楽振興会2015・2016年度音楽奨学生。平成28年度東京藝術大学宗次特待奨学生。ロームミュージックファンデーション2017年度奨学生。東京藝術大学附属音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部入学。現在ベルリン芸術大学学士課程に在籍し、J=P. マインツ氏の元で研鑽を積んでいる。これまでに林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。

